
2016年 3月期 決算説明会 資料

2016年 5月24日

東亜建設工業株式会社

1-1) 2016年 3月期 決算結果

(単位: 億円、%)	2015年3月期		2016年3月期				対前期増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注高		2,377			1,808	△ 23.9%		△ 568
売上高	1,988	1,867	2,002	0.7%	1,932	3.5%	13	64
売上総利益	152	134	217	42.2%	198	47.5%	64	63
売上総利益率	7.7%	7.2%	10.9%		10.3%		3.2	3.1
一般管理費	95	85	99	3.8%	89	3.7%	3	3
一般管理比率	4.8%	4.6%	5.0%		4.6%		0.1	0.0
営業利益	56	48	117	107.0%	109	125.2%	60	60
営業外収益	5	4	3	△ 25.9%	3	△ 24.8%	△ 1	△ 1
営業外費用	8	7	15	74.8%	14	85.9%	6	6
経常利益	53	45	106	99.8%	98	116.2%	52	52
特別利益	11	10	0	△ 95.8%	0	△ 96.0%	△ 10	△ 10
特別損失	9	8	19	112.0%	18	115.2%	10	10
税引前利益	55	47	87	58.4%	80	68.9%	32	32
当期純利益	20	16	60	190.2%	54	231.5%	39	38

※2016年3月期の連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

総資産	1,902	1,759	1,964		1,821		62	62
純資産	690	613	711		652		21	38
自己資本比率	36.1%	34.9%	36.0%		35.8%		△ 0.1	0.9
有利子負債残	292	250	299		250		6	△ 0
D/Eレシオ(倍)	0.48	0.46	0.45		0.43		△ 0.03	△ 0.03

■ 業績数値

- 受注（東亜単体 1,808億円）
 - 売上高（連結 2,002億円、単体 1,932億円）
 - ・ 東亜単体の売上高増加で、連結売上高も増加
 - 売上総利益
 - ・ 東亜単体の工事利益の改善により、前期比で大幅増
 - 販売費及び一般管理費
 - ・ 事業税の増加もあり、前期比で増加
 - 当期純利益（連結 60.3億円、単体 54.7億円）
 - ・ 連結・単体とも、前期比で大幅増。期首目標達成
- ※期首目標（連結 22億円、単体 18億円）

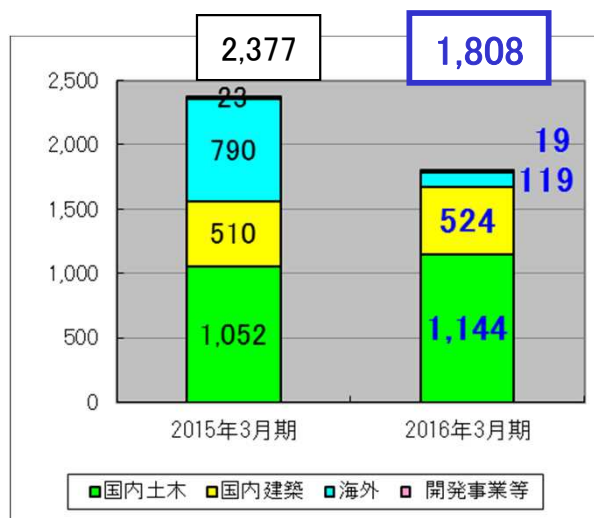
■ 財務数値

- 有利子負債残高（連結 299億円、単体 250億円）
 - ・ 中期経営計画の目標値を達成
- ※目標値（2015年度に連結 300億円、単体 250億円）
- D/Eレシオ（連結 0.45、単体 0.43）
 - ・ 中期経営計画の目標値を達成
- ※目標値（2015年度に連結 0.5倍、単体 0.45倍）

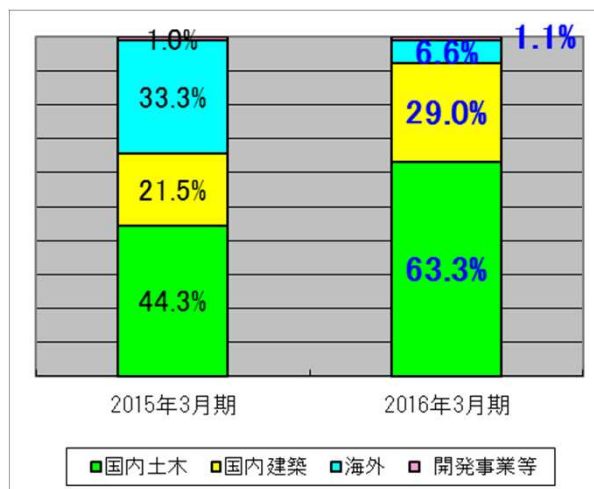
1-2) 事業分野別 受注実績 (単体)

受注高 (単位: 億円)		2015年 3月期 実績	2016年3月期	
			実績	前期比
国内土木	官庁	802	830	3.5%
	民間	249	314	25.7%
	計	1,052	1,144	8.8%
国内建築	官庁	60	113	88.2%
	民間	450	411	△8.7%
	計	510	524	2.8%
国内計		1,563	1,669	6.8%
海外	土木	765	104	△86.4%
	建築	25	15	△84.8%
	計	790	119	△84.8%
	土木	1,817	1,249	△31.3%
	建築	536	540	0.8%
建設事業計		2,353	1,789	△24.0%
開発事業等		23	19	△18.1%
合 計		2,377	1,808	△23.9%

■ 受注 実績比較 (受注額) 単位: 億円



■ 受注 実績比較 (シェア)



□ 受注高 (1,808億円、前期比 △23.9%)

- ・ 期首目標値 1,670億円
(国内土木805, 建築500, 海外350, 開発15)

■ 国内土木 (1,144億円、前期比 8.8%)

- ・ 官庁土木は、常陸那珂港の港湾工事など大型案件の受注が寄与
- ・ 民間土木は、エネルギー関連施設やリニア中央新幹線工事の受注により増加

■ 国内建築 (524億円、前期比 2.8%)

- ・ 官庁建築は、学校給食センター (PFI) の受注などにより増加
- ・ 民間建築は、冷蔵倉庫・工場・住宅など得意分野を中心に受注を重ねる

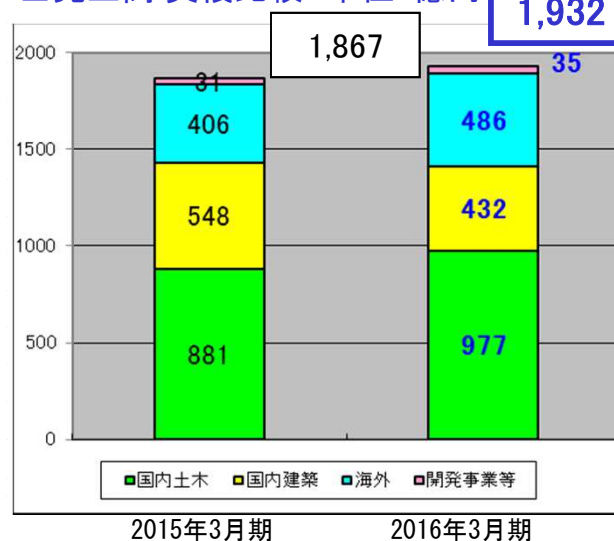
■ 海外 (119億円、前期比 △84.8%)

- ・ 前期に大型土木案件の受注が相次いだこともあり、前期比では大幅減

1-3) 事業分野別 売上高・損益実績（単体）

売上高 (単位: 億円)	2015年 3月期	2016年3月期	
	実績	実績	前期比
国内土木	881	977	10.9%
国内建築	548	432	△21.1%
国内計	1,429	1,410	△1.4%
海外計	406	486	19.8%
建設事業計	1,836	1,897	3.3%
開発事業等	31	35	11.9%
合計	1,867	1,932	3.5%

■ 売上高 実績比較 単位: 億円



□ 売上高 (1,932億円、前期比 3.5%)

■ 国内土木 (977億円、前期比 10.9%)

・ 手持工事の消化が順調に進み、大幅増

■ 国内建築 (432億円、前期比 △21.1%)

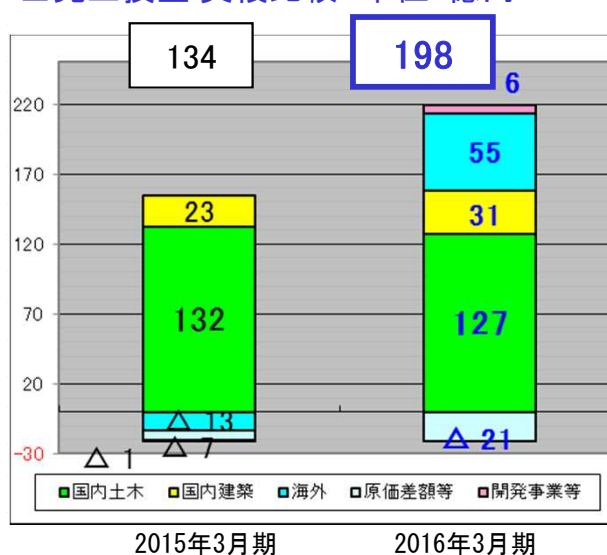
・ 前期の大型案件竣工の反動減もあり、前期比では減少

■ 海外 (486億円、前期比 19.8%)

・ 手持工事の順調な消化により、高水準を確保

売上損益 利益率 (単位: 上段-億円、 下段-%・ポイント)	2015年 3月期	2016年3月期	
	実績	実績	前期比
国内土木	132	127	△4.2%
	15.1%	13.0%	△2.1%
国内建築	23	31	32.9%
	4.3%	7.2%	2.9%
国内計	156	158	1.3%
	10.9%	11.2%	0.3%
海外	△13	55	—
	△3.3%	11.3%	—
原価差額等	△7	△21	—
建設事業計	135	191	41.5%
	7.4%	10.1%	2.7%
開発事業等	△1	6	—
	△3.4%	18.7%	—
合計	134	198	47.5%
	7.2%	10.3%	3.1%

■ 売上損益 実績比較 単位: 億円



□ 売上損益 (198億円、前期比 47.5%)

■ 国内土木 (127億円、前期比 △4.2%)

・ 前期比では減少だが、引き続き高水準を維持

■ 国内建築 (31億円、前期比 32.9%)

・ 利益率の改善に伴い、増益

■ 海外 (55億円、前期比 —)

・ 一部の不採算工事の影響は前期で一巡し、利益を確保

■ お問い合わせ先

〒163-1031
東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー 31F
東亜建設工業 株式会社
経営企画部広報室 清水 祐治
TEL:03-6757-3821
FAX:03-6757-3830

Yes! Harmony



この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく 予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることをご承知おきください。